

伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	内容	事業例	平成21年度					平成22年度				
					施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課
地球環境に配慮した、資源やエネルギーが大切にされる、循環型社会のまち	1 計画的な推進体制の確立	1 地球温暖化防止推進計画の策定	地球温暖化防止に向けた取組を、総合的・計画的に推進するための方針を策定します。	・伊勢市地球温暖化防止地域推進計画の策定	・研修会、説明会に出席し、情報収集を行った。	—	—	—	環境課	・地域から排出される温室効果ガスの推計値を把握。(1990年、2006年、2007年) ・三重県地球温暖化防止計画(区域施策編)の進捗状況を確認。 ※数値などを県の計画と合わせた形で策定予定。	—	—	—	環境課
					・家庭用太陽光発電機器設置者へ補助金を交付(交付件数80件) ・広報いせへ太陽光発電機器設置推進の啓発記事を掲載	家庭用新エネルギー普及推進事業	4,800	内訳: 一般財源2,400千円 経済交付金2,400千円	環境課	・家庭用太陽光発電機器設置者へ補助金を交付(募集件数80件)	家庭用新エネルギー普及推進事業	4,800	—	環境課
	2 資源・エネルギーの有効利用	1 新エネルギー導入の推進	環境負荷の少ない新エネルギー機器等の普及を進めます。	・公用車へのエコカー導入 ・市の施設において太陽光発電機器やエコキュートなどの新エネルギー機器の導入	・公用車の低公害車への買い替え ハイブリッド車— 3台 軽乗用車 — 4台 軽貨物車 — 14台	車両購入経費	18,756	—	管財契約課	浜郷地区コミュニティセンター、宮本地区コミュニティセンターへの太陽光発電機器の設置 参考:関連事業名は支出を計上していませんが、地区コミュニティセンター維持管理経費	電力売払収入73千円 ※施設建設時に整備 供用開始 浜郷H14.4 宮本H15.4	117	電力売払収入H21決算73千円 ※施設建設時に整備 供用開始 浜郷H14.4 宮本H15.4	市民交流課
					伊勢市産業支援センターへ太陽光発電設備を設置	太陽光発電設備設置事業	23,255	—	産業支援課	伊勢商工会議所環境委員会生ごみ(新エネ)研究会に研究会委員として参加し、バイオガス利用の事業化に向けた検討を行った。 また、環境省中部地方環境事務所の協力を得て小規模の上久保自治会地域において燃えるごみから生ごみを分別・排出する実験を行った。	—	—	—	環境課
					・廃食用油について、CATV、広報いせ、イベントでのチラシ配布で回収の周知を行った。 ・バイオディーゼル燃料として再利用を図った。 ・市内公衆浴場で、重油、焚きつけ材にかわる燃料として再利用を図った。	資源ごみ売払収入	11,653	内廃食用油分 549円	環境課	・伊勢商工会議所環境委員会生ごみ(新エネ)研究会に研究会委員として参加し、バイオガス利用の事業化に向けた検討を行い報告書を作成した。 また、環境省中部地方環境事務所の協力を得て野村町会において燃えるごみから生ごみを分別・排出する実験を行った。	—	—	—	環境課
					環境管理システムによる市の施設における電気、公用車燃料、事務用紙の使用量の抑制 特に、公用車燃料使用量については、エコドライブ宣言を行い、削減に取り組んだ。	—	—	—	環境課	・廃食用油の回収について、CATV、広報いせ、及び講習会の場で啓発を行う。 ・バイオディーゼル燃料として再利用を図る。 ・市内公衆浴場で、重油、焚きつけ材にかわる燃料として再利用を図る。	資源ごみ売払収入	22,824	内廃食用油分 403円	環境課
					環境管理システムによる市の施設における電気、公用車燃料、事務用紙の使用量の抑制 特に、公用車燃料使用量については、エコドライブ宣言を行い、削減に取り組んだ。	—	—	—	環境課	環境管理システムによる市の施設における電気、公用車燃料使用量、事務用紙使用量の抑制 全ての公用車(緊急車両の除く)にエコドライブステッカーを貼り、意識向上に取り組んだ。	—	—	—	環境課
					・本館エレベーター改修により使用電力の削減 ・本館暖房用ボイラー改修により使用燃料の削減	庁舎等整備経費	24,833	—	管財契約課	—	—	—	—	環境課
					市の施設である街路灯のLED電球への交換による省エネルギー化。	街路施設改良事業	1,699	—	基盤整備課	市の施設である街路灯のLED電球への交換による省エネルギー化を図る。	伊勢市駅周辺整備事業	41,895	—	基盤整備課
					サン・サポート・スクエア伊勢内にLED照明灯を5基設置した。	企業立地推進一般経費	2,546	—	産業支援課	—	—	—	—	—
					—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
					—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

平成23年度					平成24年度					平成25年度				
施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	備考	事業担当課
H23.5.9 伊勢市環境審議会に「伊勢市の“エネルギーの地産地消”として、1.市内で電気エネルギーを生み出す 2.市内の家庭や事業者等が取り組む省エネルギー活動」についての具体的な取組等を含めた「伊勢市地球温暖化防止実行計画(区域施策編)」について諮問。 うち“エネルギーの地産地消”については、H23.10.19付けで答申を受けた。	環境審議会経費	571		環境課	平成32(2020)年度における伊勢市の温室効果ガス排出量を基準年度(平成19年(2005))年度比で30%削減することを目標とした「伊勢市地球温暖化防止実行計画」を平成24年12月に策定した。	環境審議会経費	339		環境課					
・家庭用太陽光発電機器設置者へ補助金を交付(当初募集件数100件) (6月補正200件) (12月補正120件) ・H24.3.30 420件交付決定、397件交付確定	家庭用新エネルギー普及推進事業	23,833		環境課	・太陽光発電機器設置者へ補助金を交付(募集件数420件【事業所による設置も対象】) ・H25.3.29 395件交付決定、335件交付確定。未完了60件については繰越対応。	太陽光発電普及促進事業	20,164		環境課	太陽光発電設備機器設置者へ補助金を交付(募集件数420件)	太陽光発電普及促進事業	25,285		環境課
					多くの化石燃料に依存した暮らしから、省エネルギーでかつ豊かな低炭素社会での暮らしに移行していくため、電気自動車等を活用した移動手段の新たな使い方を検討し、取組を進めることで「低炭素で豊かに暮らせる伊勢」を創造することを目的とする「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」を設立し、平成25年3月に行動計画「おかげさま! Action」を策定	-		開催経費等は県の予算	環境課	おかげさまAction!に基づき、取組を進める	-	-		環境課
										電気自動車2台の購入 充電スタンド設置工事費	エコドライブ普及推進事業	11,449		環境課
										交通分野における温室効果ガス削減の啓発及び「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」が平成25年3月に策定した行動計画「おかげさまAction!」の各種取組を促進するため、行動計画に基づく事業者による電気自動車バスの導入を支援する。	EVバス導入支援事業	12,500		環境課
浜郷地区コミュニティセンター、宮本地区コミュニティセンターへの太陽光発電機器の設置 参考:関連事業名は支出を計上していませんが、地区コミュニティセンター維持管理経費		85	電力売払収入 ※施設建設時に整備 供用開始 浜郷H14.4 宮本H15.4	市民交流課	浜郷地区コミュニティセンター、宮本地区コミュニティセンターへの太陽光発電機器の設置 参考:関連事業名は支出を計上していませんが、地区コミュニティセンター維持管理経費		79 (収入)	電力売払収入 ※施設建設時に整備 供用開始 浜郷H14.4 宮本H15.4	市民交流課	浜郷地区コミュニティセンター、宮本地区コミュニティセンターへの太陽光発電機器の設置 参考:関連事業名は支出を計上していませんが、地区コミュニティセンター維持管理経費		72 (収入)	電力売払収入 ※施設建設時に整備 供用開始 浜郷H14.4 宮本H15.4	市民交流課
しごうこども園への太陽光発電機器の設置	四郷地区認定こども園 施設整備事業	8,996		こども課										
伊勢商工会議所環境委員会「生ゴミ・エネルギー」分科会に参加し、バイオガス利用の事業化に向けた検討を行った。 また、「エネルギーの地産地消」において、地産プロジェクトの1つとして「生ゴミメタン化の研究」を位置づけた。	-			環境課	現状においては、資源化施設の建設の他、現焼却施設においても多額の改修費を要することから事業化の好期とは言えず、実施は困難であると判断し、検討結果については、現焼却施設の更新の際の検討資料として活用することとした。	-			環境課					
・廃食用油の回収について、CATV、広報いせ、及び講習会の場で啓発を行った。 ・バイオディーゼル燃料として再利用を図る。 ・市内公衆浴場で、重油、焚きつけ材にかわる燃料として再利用を図った。	資源ごみ売払収入	24,284	内廃食用油分含む	環境課	・廃食用油の回収について、CATV、広報いせ、及び講習会の場で啓発を行った。 ・バイオディーゼル燃料として再利用を図った。 ・市内公衆浴場で、重油、焚きつけ材にかわる燃料として再利用を図った。	資源ごみ売払収入	20,328	内廃食用油分含む	清掃課	・廃食用油の回収について、CATV、広報いせ、及び講習会の場で啓発を行う。 ・バイオディーゼル燃料として再利用を図る。 ・市内公衆浴場で、重油、焚きつけ材にかわる燃料として再利用を図る。	資源ごみ売払収入	14,484	内廃食用油分含む	清掃課
環境管理システムによる市の施設における電気、公用車燃料使用量、事務用紙使用量の抑制	-			環境課	環境管理システムによる市の施設における電気、公用車燃料使用量、事務用紙使用量の抑制 職員向けのエコドライブ講習会(座学及び実習)を開催した 第1回 H24.7.4 参加人数15人 第2回 H25.3.6 開催予定	衛生一般事業	84	職員向け対象経費のみ計上	環境課	環境管理システムによる市の施設における電気、公用車燃料使用量、事務用紙使用量の抑制 職員向けのエコドライブ講習会(座学及び実習)を開催した 第1回 H25.6.13 参加人数15人 第2回 H25.11.20 開催予定	エコドライブ普及推進事業	158	職員向け対象経費のみ計上	環境課
市民向けのエコドライブ講習会(座学及び実習)を開催した 第1回 H23.7.15 参加人数14人 第2回 H23.8.29 参加人数9人	衛生一般事業	62		環境課	市民向けのエコドライブ講習会(座学及び実習)を開催した 第1回 H24.8.29 参加人数10人 第2回 H24.12.5 参加人数4人	衛生一般事業	60	市民向け対象経費のみ計上	環境課	市民向けのエコドライブ講習会(座学及び実習)を開催した 第1回 H25.10.16 参加人数6人 第2回 H25.12.10 開催予定	エコドライブ普及推進事業	138	市民向け対象経費のみ計上	環境課
市の施設である公園の照明灯と駐輪場の照明灯にLED球照明灯を使用し、省エネルギー化を図る。	・高向西公園整備事業(防衛) ・伊勢市駅前広場整備事業	4,061		基盤整備課	市の施設である駅前広場の照明灯にLED球照明灯を使用し、省エネルギー化を図る。 ・宇治山田駅前広場整備事業(①) ・伊勢市駅前広場整備事業(交付金)(②)		31,699	(予算) H23繰越 19,738① H24 29,752② (決算) 19,229① H23繰越 12,470② H24	基盤整備課	市道における歩道用照明灯や公園の照明灯にソーラー式LED球照明灯を使用し、省エネルギー化及びCO2削減を図る。 ・伊勢市駅前広場整備事業(交付金)(①) ・二俣西公園(仮称)整備事業(防災交付金)(②) ・八日市場高向線整備事業(交付金)(③)		55,161	(予算) H24繰越 37,161 (①+②) H25 18,000 (③)	基盤整備課
					企業の進出を受け、サン・サポート・スクエア伊勢内にLED照明灯を3基設置した。	企業立地推進一般経費	188		産業支援課	企業の進出状況に応じてサン・サポート・スクエア伊勢内にLED照明灯を設置	企業立地推進一般経費	381		産業支援課
東日本大震災及び節電対策として、市管理施設でのグリーンカーテンの設置を呼びかけた。64施設で実施。(予算は施設所管課にて計上)	-			環境課	市管理施設でのグリーンカーテンの設置を呼びかけた。71施設で実施。(予算は施設所管課にて計上)	-			環境課	市管理施設でのグリーンカーテンの設置を呼びかけた。64施設で実施。(予算は施設所管課にて計上)	-	-		環境課
					地区コミュニティセンターのガラス面に飛散防止フィルム(南面・西面は遮熱フィルム)を貼付し、災害時におけるガラスの飛散防止と夏季における空調設備等の節電に努める。(平成24年度北浜・豊浜・大湊・浜郷地区)	地区コミュニティセンター防災対策事業	2,366	平成25年度には、宮本、	市民交流課	地区コミュニティセンターのガラス面に飛散防止フィルム(南面・西面は遮熱フィルム)を貼付し、災害時におけるガラスの飛散防止と夏季における空調設備等の節電に努める。(平成25年度沼木・宮本地区)	地区コミュニティセンター防災対策事業	3,136		市民交流課

伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	内容	事業例	平成21年度					平成22年度						
					施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課		
3 3Rの推進	1 廃棄物の発生抑制 (Reduce)	1 廃棄物の発生抑制 (Reduce)	廃棄物が発生しない生活・事業活動への転換を行ないます。	・地域、学校等でのごみに関する講座の開催	出前講座として、自治会にてごみに関する講座を開催した。(説明会開催回数2回、参加人員 延べ60人)	—	—	—	—	環境課	出前講座として、ごみの資源化に関する講座を開催した。(説明会開催回数9回、参加人員 延べ258人。)	—	—	—	—	環境課
					事業所(スーパーマーケットなど)・市民団体・市が協力して、市内スーパー等のレジ袋を有料化にすることでマイバッグの持参を促し、余分なレジ袋を削減する取り組みを行っている。	—	—	—	—	環境課	事業所(スーパーマーケットなど)・市民団体・市が協力して、市内スーパー等のレジ袋を有料化にすることでマイバッグの持参を促し、余分なレジ袋を削減する取り組みを行っている。	—	—	—	—	環境課
					市内事業者を対象に、一般廃棄物に関する調査を行ない、排出量削減のための施策について検討した。 ●10事業者に対し排出ごみの構成・組成分析調査 ●1,000事業者に対し文書アンケート調査	—	—	—	—	環境課	市内事業者を対象に、一般廃棄物に関する調査を行ない、排出量削減のための施策について検討した。 ●10事業者に対し排出ごみの構成・組成分析調査 ●1,000事業者に対し文書アンケート調査	—	2,415	—	—	環境課
					生ごみの減量化のため、ごみ減量化容器の購入に要する経費の一部を助成した。 ※補助率1/2 3万円上限	ごみ減量化容器設置補助金事業	3,470	—	—	環境課	生ごみの減量化のため、ごみ減量化容器の購入に要する経費の一部を助成した。 ※補助率1/2 3万円上限	ごみ減量化容器設置補助金事業	2,957	—	—	環境課
					ごみの減量・資源化、市民の意識向上のため、自治会や子供会などの団体が行う廃品回収に対し、回収した資源の量に応じた奨励金を交付した。	再生資源奨励金	16,548	—	—	環境課	ごみの減量・資源化、市民の意識向上のため、自治会や子供会などの団体が行う廃品回収に対し、回収した資源の量に応じた再生資源回収事業奨励金を交付した。	再生資源回収推進事業	17,796	—	—	環境課
					・廃棄物の適正処理のため、伊勢広域環境組合に負担金を支出した。 ・事業系一般廃棄物について、管外搬入がないかごみ搬入検査を行なった。	伊勢広域環境組合負担金(し尿)ごみ	1,071,942	—	—	環境課	・廃棄物の適正処理のため、伊勢広域環境組合に負担金を支出した。 ・事業系一般廃棄物について、管外搬入がないかごみ搬入検査を行なった。	伊勢広域環境組合負担金(し尿)ごみ	942,453	—	—	環境課
	2 廃棄物の再利用 (Reuse)・再生利用 (Recycle)の推進	2 廃棄物の再利用 (Reuse)・再生利用 (Recycle)の推進	再使用・再生利用のしくみづくりを行ない、廃却・埋立ごみの減量を図ります。	・リサイクル製品の購入・使用 ・生ごみの堆肥化 ・廃止施設の備品の活用	・市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして174自治会より推薦された377名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、推進員業務研修を行い、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。	ごみ減量・資源化事業一般経費	2,168	—	—	環境課	・市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして171自治会より推薦された374名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、推進員業務研修を行い、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。	ごみ減量・資源化事業一般経費	2,283	—	—	環境課
					旧伊勢市・御園町における燃えるごみの集積化、二見・小俣・御園地域における資源ごみの指定日排出方式を調整した。自治会等との協働事業にて集積化を推進した。	廃棄物集積化設置補助金	61,465	—	—	環境課	旧伊勢市・御園町における燃えるごみの集積化の随時推進、二見・小俣・御園地域における資源ごみの指定日排出方式を段階的に実施した。完全集積化に向け自治会との協働事業を進めた。	廃棄物集積化設置補助金	260,205	内訳(予算) 平成21年度繰越分 121,778千円 平成22年度分 180,804千円 内訳(決算) 平成21年度繰越分 121,610千円 平成22年度分 138,595千円	環境課	
					ごみの減量化・資源化の推進のため、資源拠点ステーションを設置した。(22年度 市内1箇所) また、資源ステーション設置のための環境整備を行なった。	資源回収ステーション推進事業	10,350	—	—	環境課	ごみの減量化・資源化の推進のため、資源拠点ステーションを設置した。(22年度 市内1箇所) また、資源ステーション設置のための環境整備を行なった。	資源回収ステーション推進事業	10,350	—	—	環境課
					市が管理する最終処分場における廃棄物の適正管理のため、地下水等水質調査を行なった。また、可搬式トラックスケールを導入し、搬入物、搬入物のうち、ガレキ類の再資源化業務委託を行なった。	廃棄物投棄場管理一般経費	14,639	—	—	環境課	市が管理する最終処分場における廃棄物の適正管理のため、地下水等水質調査を行なった。また、可搬式トラックスケールを導入し、搬入物、搬入物のうち、ガレキ類の再資源化業務委託を行なった。	廃棄物投棄場管理一般経費	14,639	—	—	環境課
					“伊勢市ごみ問題市民会議”と協働し、3Rの推進及び不法投棄防止啓発を目的に、市内小中学校を対象に「ごみゼロポスター」を募集した	きれいなまちづくり推進事業	605	—	—	環境課	“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”と協働し、3Rの推進及び不法投棄防止啓発を目的に、市内小中学校を対象に「ごみゼロポスター」を募集した	きれいなまちづくり推進事業	181	—	—	環境課
					・市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして171自治会より推薦された374名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、推進員業務研修を行い、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。	ごみ減量・資源化事業一般経費	2,168	—	—	環境課	・市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして171自治会より推薦された374名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、推進員業務研修を行い、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。	ごみ減量・資源化事業一般経費	2,283	—	—	環境課

平成23年度					平成24年度					平成25年度				
施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	備考	事業担当課
出前講座として、ごみの資源化に関する講座を開催した。(説明会開催回数10回、参加人員 延べ277人)	—			環境課	出前講座として、ごみの資源化に関する講座を開催した。(説明会開催回数11回、参加人員 延べ249人)	—	—		清掃課	出前講座として、ごみの資源化に関する講座を開催を行う。	—	—		清掃課
事業所(スーパーマーケットなど)・市民団体・市が協力して、市内スーパー等のレジ袋を有料化にすることでマイバッグの持参を促し、余分なレジ袋を削減する取り組みを行った。	—		—	環境課	事業所(スーパーマーケットなど)・市民団体・市が協力して、市内スーパー等のレジ袋を有料化にすることでマイバッグの持参を促し、余分なレジ袋を削減する取り組みを行った。	—	—		清掃課	事業所(スーパーマーケットなど)・市民団体・市が協力して、市内スーパー等のレジ袋を有料化にすることでマイバッグの持参を促し、余分なレジ袋を削減する取り組みを行っている。	—	—		清掃課
生ごみの減量化のため、ごみ減量化容器の購入に要する経費の一部を助成した。 ※補助率1/2 3万円上限	ごみ減量化容器設置補助金事業	1,789		環境課	生ごみの減量化のため、ごみ減量化容器の購入に要する経費の一部を助成した。 ※補助率1/2 3万円上限	ごみ減量化容器設置補助金事業	1,180		清掃課	生ごみの減量化のため、ごみ減量化容器の購入に要する経費の一部を助成する。 ※補助率1/2 3万円上限	ごみ減量化容器設置補助金	1,954		清掃課
ごみの減量・資源化、市民の意識向上のため、自治会や子供会などの団体が行う廃品回収に対し、回収した資源の量に応じた再生資源回収事業奨励金を交付した。 ※奨励金制度の見直しのためのアンケートを行なった。	再生資源回収推進事業	18,144	予算額内訳 当初 16,715千円 3月補正 +1,770千円	環境課	ごみの減量・資源化、市民の意識向上のため、自治会や子供会などの団体が行う廃品回収に対し、回収した資源の量に応じた再生資源回収事業奨励金を交付した。	再生資源回収推進事業	8,798	平成23年度に制度の見直しを行い、交付金額を6円/kgから3円/kgに減額	清掃課	ごみの減量・資源化、市民の意識向上のため、自治会や子供会などの団体が行う廃品回収に対し、回収した資源の量に応じた再生資源回収事業奨励金を交付する。	再生資源回収推進事業	8,703		清掃課
・廃棄物の適正処理のため、伊勢広域環境組合に負担金を支出した。 ・事業系一般廃棄物について、管外搬入がないかごみ搬入検査を行った。	伊勢広域環境組合負担金(し原)(ごみ)	797,151	決算額は「ごみ」のみ	環境課	・廃棄物の適正処理のため、伊勢広域環境組合に負担金を支出した。 ・事業系一般廃棄物について、管外搬入がないかごみ搬入検査を行った。	伊勢広域環境組合負担金(ごみ)	806,054		清掃課	・廃棄物の適正処理のため、伊勢広域環境組合に負担金を支出する。 ・事業系一般廃棄物について、管外搬入がないかごみ搬入検査を行う。	伊勢広域環境組合負担金(ごみ)	933,703		清掃課
市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして169自治会より推薦された341名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。	(中)ごみ減量・資源化事業一般経費	2,022	—	環境課	市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして169自治会より推薦された336名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。	(中)ごみ減量・資源化事業一般経費	1,995	—	清掃課	市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして169自治会より推薦された340名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼している。	ごみ減量・資源化事業一般経費	2,536		清掃課
市内全域における燃えるごみの集積化を実現、維持するため、自治会等の協力を得てごみ集積所の設置等を行った。	廃棄物集積所設置補助金	54,472	予算額内訳 平成22年度繰越 34,000千円 平成23年度当初 4,050千円 同 9月補正 18,530千円	環境課	市内全域における燃えるごみの集積化を実現、維持するため、自治会等の協力を得てごみ集積所の設置等を行っている。	廃棄物集積所設置補助金	5,226		清掃課	市内全域における燃えるごみの集積化を実現、維持するため、自治会等の協力を得てごみ集積所の設置等を行っている。	廃棄物集積所設置補助金	5,050		清掃課
・“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”と協働し、3Rの推進及び不法投棄防止啓発を目的に、市内小中学校を対象に「ごみゼロポスター」を募集した。	きれいなまちづくり推進事業	190		環境課	・“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”と協働し、3Rの推進及び不法投棄防止啓発を目的に、市内小中学校を対象に「ごみゼロポスター」を募集した。	きれいなまちづくり推進事業	207		清掃課	・“伊勢市環境会議”と協働し、3Rの推進及び不法投棄防止啓発を目的に、市内小中学校を対象に「ごみゼロポスター」を募集を行う。	きれいなまちづくり推進事業	312		清掃課

	平成23年度					平成24年度					平成25年度				
	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	備考	事業担当課
	水生生物の産卵場、幼稚魚の保育場など水産資源の保護・培養の他、水質浄化などの役割を持つ干潟において、地区漁業者が中心となっている活動組織が行う耕うん・稚貝の沈着促進等の保全に係る活動を支援し、干潟の機能回復を図る。	干潟保全活動支援事業	740		農林水産課	水生生物の産卵場、幼稚魚の保育場など水産資源の保護・培養の他、水質浄化などの役割を持つ干潟において、地区漁業者が中心となっている活動組織が行う耕うん・稚貝の沈着促進等の保全に係る活動を支援し、干潟の機能回復を図る。	干潟保全活動支援事業	740		農林水産課	水産資源の保護・培養や水質浄化等で重要な役割を果たす干潟等において、地区漁業者が中心となる活動組織が行う稚貝の沈着促進・耕うん等の保全活動を支援し、干潟等の機能回復を図る。	干潟保全活動支援事業	5,000		農林水産課
	護岸ブロックに環境保全型を使用し、植生の早期復元を図る。 (大堀川支川、大倉川〔4箇所〕、亀谷郡川〔2箇所〕、小田古川、雲出川、五十鈴川)	・準用河川大堀川支川改修事業(防衛) ・河川災害復旧事業	144,762	(予算) H22繰越 11,654 H23 130,014 (決算) H22繰越 11,653 H23 133,109	基盤整備課	護岸ブロックに環境保全型を使用し、植生の早期復元を図る。 (船江山川、大倉川〔2箇所〕、五十鈴川、古屋川)	・河川改良事業(①) ・河川災害復旧事業(②)	25,137	(予算) H23繰越 4,527② H24 51,843 (①+②) (決算) H23繰越 4,021② H24 21,116 (①+②)	基盤整備課	護岸ブロックに環境保全型を使用し、植生の早期復元を図る。 (船江山川)	・河川改良事業	56,243	(予算) H25 56,243	基盤整備課
	公害関係法令の遵守に係る指導	—	—		環境課	公害関係法令の遵守に係る指導	—			環境課	公害関係法令の遵守に係る指導	—	—		環境課
	第3期事業認可区域を拡大し整備すると共に第2期事業認可区域の完成を目指し、下水道供用区域の拡大を図る。	・流域関連公共下水道交付金事業費 ・流域関連公共下水道補助事業費 ・流域関連公共下水道単独事業費	1,702,205		上下水道総務課	第3期事業認可区域を拡大し整備すると共に第2期事業認可区域の完成を目指し、下水道供用区域の拡大を図る。また第4期事業計画について検討を行っている。	・流域関連公共下水道交付金事業費 ・流域関連公共下水道補助事業費 ・流域関連公共下水道単独事業費	1,753,269		下水道建設課	第3期事業認可区域を拡大し整備すると共に第2期事業認可区域の完成を目指し、下水道供用区域の拡大を図る。また第4期事業計画について検討を行っている。	・流域関連公共下水道交付金事業費 ・流域関連公共下水道補助事業費 ・流域関連公共下水道単独事業費	4,235,419		下水道建設課
	国土交通省の委託を受け、宮川の流水を勢田川へ導水することにより、勢田川、豊川、及び市内幹線排水路の浄化を図る。	勢田川浄化事業	14,298		維持課	国土交通省の委託を受け、宮川の流水を勢田川へ導水することにより、勢田川、豊川、及び市内幹線排水路の浄化を図る。	勢田川浄化経費	13,918		維持課	国土交通省の委託を受け、宮川の流水を勢田川へ導水することにより、勢田川、豊川、及び市内幹線排水路の浄化を図る。	勢田川浄化経費	16,872		維持課
	市内の河川、海域の水質調査 (河川11箇所、海域6地点)	調査事業	1,953		環境課	市内の河川、海域の水質調査 (河川11箇所、海域6地点)	調査事業	1,834		環境課	市内の河川、海域の水質調査 (河川12箇所、海域6地点)	調査事業	2,491		環境課
	・“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、7/3「勢田川七夕大そうじ」を開催し、約3,000人のボランティア清掃を行った。	生活排水対策啓発事業	210		環境課	・“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、7/1「勢田川七夕大そうじ」を開催し、約2,500人のボランティア清掃を行った。	生活排水対策啓発事業	216		環境課	・“伊勢市環境会議”とともに、7/7「勢田川七夕大そうじ」を開催し、約2,500人のボランティア清掃を行った。	生活排水対策啓発事業	320		環境課
	・“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともにEM団子を作成し、有緒小学校3年生の児童により水質浄化のために勢田川に投入した。	生活排水対策啓発事業	210		環境課	・“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともにEM団子を作成し、有緒小学校3年生の児童により水質浄化のために勢田川に投入する。	生活排水対策啓発事業	216		環境課	・“伊勢市環境会議”とともにEM団子を作成し、有緒小学校3年生の児童により水質浄化のために勢田川に投入した。	生活排水対策啓発事業	320		環境課
	“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに「エコクッキング」を開催した。	生活排水対策啓発事業	210		環境課	“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに「エコクッキング」を開催する。	生活排水対策啓発事業	216		環境課	“伊勢市環境会議”とともに「エコクッキング」を開催する。	生活排水対策啓発事業	320		環境課
	・浄化槽設置世帯へ補助金を交付 予算件数は以下の通り (下水道認可区域外) 5人槽*106基 高度5人槽*130基 7人槽* 65基 高度7人槽* 70基 10人槽*14基 高度10人槽 ~50人槽*10基 (下水道認可区域内) 5人槽*21基 7人槽*13基 10人槽*4基	合併処理浄化槽設置整備事業補助金	172,106		環境課	合併浄化槽設置者に対し補助金を交付し、生活排水処理施設の整備を促進する。 補助予定基数 下水道認可区域外:394基 下水道認可区域内: 41基	合併処理浄化槽設置整備事業	138,884		環境課	合併浄化槽設置者に対し補助金を交付し、生活排水処理施設の整備を促進する。 補助予定基数 下水道認可区域外:410基 下水道認可区域内: 38基	合併処理浄化槽設置整備事業	136,228		環境課
											団地等に設置されている共同汚水処理施設の修繕工事の費用の一部を補助 修繕工事費の1/3(300万円以内)	共同汚水処理施設修繕工事補助金	7,600		環境課
	・“100万人のキャンドルナイト伊勢実行部隊”とともに、勢田川親水等を目的に、勢田川沿岸にキャンドルを灯す「100万人のキャンドルナイト伊勢」を8/6に開催した	—	—		環境課	・“100万人のキャンドルナイト伊勢実行部隊”とともに、勢田川親水等を目的に、勢田川沿岸にキャンドルを灯す「100万人のキャンドルナイト伊勢」を8/4に開催した	—	—		環境課	“100万人のキャンドルナイト伊勢実行部隊”とともに、例年開催している「100万人のキャンドルナイト伊勢」について、今年度は他の行事との関連により中止することが決定した。来年度は開催予定。	—	—		環境課
	“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、8/9「水生生物による水質調査」を実施した。	生活排水対策啓発事業	421		環境課	“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、8/10,9/25「水生生物による水質調査」を実施した。	生活排水対策啓発事業	216		環境課	“伊勢市環境会議”とともに、「水生生物による水質調査」を実施した。	生活排水対策啓発事業	320		環境課
	・環境保全林において3.0haの間伐を行う。 三郷山・横輪	環境保全林整備事業	0		農林水産課	・環境保全林において間伐を行う。 三郷山・横輪	環境保全林整備事業	0	※実績なし	農林水産課	・環境保全林において2.0haの間伐を行う。 三郷山・横輪	環境保全林整備事業	1,000		農林水産課
	地域の農業者団体等が景観作物を作付けする場合に、必要な草刈りや耕起、種子代などの支援を行う。	遊休農地活用事業	0		農林水産課	—	—	—	—	—	—	—	—	—	農林水産課
	地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、遊休農地を営農可能な状態にするための支援を行う。	—	0		農林水産課	地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、その再開に必要な草刈りや耕起など、遊休農地を営農可能な状態に回復するための支援を行う。 ※交付対象者:2名	遊休農地活用事業	320		農林水産課	地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、その再開に必要な草刈りや耕起など、遊休農地を営農可能な状態に回復するための支援を行う。	遊休農地活用事業	750		農林水産課
	地産地消の店認定制度の展開及び100%市内産米の米飯給食実現のため、生産者の取りまとめや指導等をJA伊勢に委託、事業を推進し農業振興に努める。 【認定店舗数:飲食店27、小売店5、量販店5、宿泊施設2、直売店5 計44(継続認定含む)】	地産地消推進事業	1,282		農林水産課	地産地消の店認定制度の展開及び100%市内産米の米飯給食実現のため、生産者の取りまとめや指導等をJA伊勢に委託、事業を推進し農業振興に努める。 【認定店舗数:飲食店30、小売店6、量販店5、宿泊施設2、直売店5 計48(継続認定含む)】	地産地消推進事業	1,344		農林水産課	市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図る。 【認定店舗数:70(継続認定含む)】	地産地消推進事業	2,019		農林水産課

平成23年度					平成24年度					平成25年度				
施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	備考	事業担当課
・“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、ごみゼロの日近く(6/5)に伊勢市駅前で早期清掃を実施した。	きれいなまちづくり推進事業	190		環境課	・“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、ごみゼロの日近く(6/5)に伊勢市駅前で早期清掃を実施した。	きれいなまちづくり推進事業	207		清掃課	・“伊勢市環境会議”とともに、お白石持行事の開始前週の12月20日(土)に奉曳コースの早期清掃を実施した。	きれいなまちづくり推進事業	312		清掃課
公害関係法令の遵守に係る指導	—	—		環境課	公害関係法令の遵守に係る指導	—	—		環境課	公害関係法令の遵守に係る指導	—	—		環境課
市内における環境騒音、道路交通による騒音及び振動を測定した。環境騒音は市内5箇所、道路交通騒音は市内3箇所、道路交通振動は市内1箇所測定を行う。	調査事業	481		環境課	市内における環境騒音、道路交通による騒音及び振動を測定した。環境騒音は市内5箇所、道路交通騒音は市内3箇所、道路交通振動は市内1箇所測定を行う。	調査事業	462		環境課	市内における環境騒音、道路交通による騒音及び振動を測定した。環境騒音は市内5箇所、道路交通騒音は市内3箇所、道路交通振動は市内1箇所測定を行う。	調査事業	0		環境課
市内特定地点の臭気測定を行なった。市内2箇所、それぞれ4地点を測定し、いずれも参考基準値を下回った。	調査事業	168		環境課	市内特定地点の臭気測定を行なった。市内2箇所、それぞれ4地点を測定を行う。	調査事業	166		環境課	市内特定地点の臭気測定を行なった。市内2箇所、それぞれ4地点を測定し、いずれも参考基準値を下回った。	調査事業	210		環境課
・配水管、給水管の漏水調査を委託して漏水箇所の修繕を行ない、漏水の抑制を図る。	・配水及び給水管維持管理事業(本庁)	5,103	調査延長108km	上水道課	・配水管、給水管の漏水調査を委託して漏水箇所の修繕を行い、漏水の抑制を図る。	・配水及び給水管維持管理事業(本庁) ・配水及び給水管維持管理事業(小保)	3,761	調査延長115.2km	上水道課	・配水管、給水管の漏水調査を委託して漏水箇所の修繕を行い、漏水の抑制を図る。	・配水及び給水管維持管理事業	8,190	調査延長168.0km	上水道課
市内で上水道が整備されない地域において、安全安心な飲料水を確保するため、自家用井戸や浄水施設等を設置した者に対し補助金を交付(交付件数0件)	高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助金	0		環境課	市内で上水道が整備されない地域において、安全安心な飲料水を確保するため、自家用井戸や浄水施設等の設置又は水質検査を実施した者に対し補助金を交付した。(交付件数2件)	高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助金	371		環境課	市内で上水道が整備されない地域において、安全安心な飲料水を確保するため、自家用井戸や浄水施設等の設置又は水質検査を実施した者に対し補助金を交付した。(交付件数2件)	高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助金	455		環境課
伊勢市景観条例に規定する重点地区(内宮おほらい町地区・二見町茶屋地区)において建築物の修景に対し助成	景観形成推進事業	0		都市計画課	伊勢市景観条例に規定する重点地区(内宮おほらい町地区・二見町茶屋地区)において建築物の修景に対し助成	景観形成推進事業	161		都市計画課	伊勢市景観条例に規定する重点地区(内宮おほらい町地区・二見町茶屋地区)において建築物の修景に対し助成	景観形成推進事業	5,000		都市計画課
公園用地に花壇等を設置し、四季折々の植栽を行なうことで市民に対する関心を高め、市民参加の「花のまちづくり」の推進を図る。	花のまちづくり推進事業	2,438		維持課	公園用地に花壇等を設置し、四季折々の植栽を行なうことで市民に対する関心を高め、市民参加の「花のまちづくり」の推進を図る。	花のまちづくり推進事業	2,559		維持課	公園用地に花壇等を設置し、四季折々の植栽を行なうことで市民に対する関心を高め、市民参加の「花のまちづくり」の推進を図る。	花のまちづくり推進事業	2,740		維持課
市の公園施設において、段差解消・ベンチの設置・水飲み場・便所などのユニバーサルデザイン及びバリアフリー化の整備を図る。	・都市公園安全・安心対策事業(H22繰越) ・公園整備事業(交付金)(H23)	95,838	(予算)H22繰越 64,914	基盤整備課	市の公園施設において、段差解消・ベンチの設置・水飲み場・便所などのユニバーサルデザイン及びバリアフリー化の整備を図る。	・公園整備事業(交付金)	18,533		基盤整備課	市の公園施設において、段差解消やベンチ・水飲み場・便所などのユニバーサルデザイン及びバリアフリー化の整備を図る。	・公園整備事業(防災・安全交付金)	29,200		基盤整備課
					近鉄宇治山田駅内方線整備等に伴う経費に対する補助	交通施設バリアフリー化事業	0		都市計画課	近鉄宇治山田駅内方線整備等に伴う経費に対する補助	交通施設バリアフリー化事業	5,166		都市計画課
平成21年度～23年度にかけて整備したしごうこども園において、ユニバーサルデザインの認証を受けた。	四郷地区認定こども園施設整備事業			こども課										
皇學館大学生と環境ミーティング(意見交換会)を行った。	—	—		環境課	皇學館大学生と環境ミーティング(意見交換会)を行った。	—	—		環境課	皇學館大学生と環境ミーティング(意見交換会)を行った。	—	—		環境課

平成23年度					平成24年度					平成25年度				
施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	備考	事業担当課
・環境報告書(えこのおと)を作成 ・ホームページ掲載事項の強化 ※市の取組紹介や他機関へのリンク等				環境課	・環境報告書を作成 ・ホームページ掲載事項の強化 ※市の取組紹介や他機関へのリンク等					・環境報告書を作成予定 ・ホームページ掲載事項の強化 ※市の取組紹介や他機関へのリンク等				
出前講座として、伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について説明会を実施した。(説明会開催回数 延べ22回、参加人員 延べ511人)(ごみの資源化に関する講座含む)	—			環境課	出前講座として、伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について説明会を実施した。(説明会開催回数 延べ26回、参加人員 延べ511人)(ごみの資源化に関する講座含む)	—	—		清掃課	出前講座として、伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について説明会を実施する。(説明会開催回数 延べ4回、参加人員 延べ99人 H25.6末現在)(ごみの資源化に関する講座含む)	—	—		清掃課
市民向けのエコドライブ講習会(座学及び実習)を開催した 第1回 H23.7.15 参加人数14人 第2回 H23.8.29 参加人数9人	衛生一般事業	62		環境課	市民向けのエコドライブ講習会(座学及び実習)を開催した 第1回 H24.8.29 参加人数10人 第2回 H24.12.5 参加人数4人	衛生一般事業	60	市民向け対象経費のみ計上	環境課	市民向けのエコドライブ講習会(座学及び実習)を開催した 第1回 H25.10.16 参加人数6人 第2回 H25.12.10 開催予定	エコドライブ普及推進事業	138	市民向け対象経費のみ計上	環境課
・“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、10/9「環境フェア」を開催した。	環境フェア等開催事業 きれいなまちづくり推進事業 生活排水対策啓発事業	437		環境課	・“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、10/21「環境フェア」を開催した。	環境フェア等開催事業	335		環境課	・“伊勢市環境会議”とともに、10/13「環境フェア」を開催する。	環境フェア等開催事業	341		環境課
・高麗広ふれあいハイキングの実施 (11月27日 参加者65名 内宮駐車場前～高麗広公民館(片道約8km))	公民館管理運営経費	56		生涯学習・スポーツ課	・高麗広ふれあいハイキングの実施 (11月18日 参加者70名 県営陸上競技場駐車場～高麗広公民館(片道約9km))	公民館管理運営経費	55		生涯学習・スポーツ課	・高麗広ふれあいハイキングの実施 (11月17日 参加者70名 県営陸上競技場駐車場～高麗広公民館(片道約9km))	公民館管理運営経費	82		生涯学習・スポーツ課
“エネルギーの地産地消”における地消プロジェクトの1つとして、9/30、京セラ・中部電力と環境教育に関する協定を締結した。	—			環境課	平成23年9月30日に京セラ・中部電力と締結した環境教育に関する協定に基づき、各校に活用を呼び掛けた。	—			環境課	平成23年9月30日に京セラ・中部電力と締結した環境教育に関する協定を今年度末まで延長した。	—	—		環境課
					市内の小中学校のエネルギー環境学習・活動を促進するため、エネルギー教育に要する経費を上限2万円で支援した。	エネルギー教育促進事業	720		環境課	市内の小中学校のエネルギー環境学習・活動を促進するため、エネルギー教育に要する経費を上限2万円で支援する。	エネルギー教育促進事業	720		環境課
市内小中学校にデマンド機を導入し、学校内の節電の推進と、節電等の教育機会の充実を図った。	—			教育総務課	引き続き市内小中学校にデマンド機を設置し、学校内の節電の推進と、節電等の教育機会の充実を図った。	—			教育総務課	引き続き市内小中学校にデマンド機を設置し、学校内の節電の推進と、節電等の教育機会の充実を図った。	—	—		教育総務課
●昨年度に環境活動の助成先として決定された団体が活動した。 ●「ええやんか！マイバッグ(レジ袋有料化)検討会(環境課は事務局として参加)」を開催し、レジ袋有料化により得られた収益金の活用方法を検討する予定である。	—			環境課	●「ええやんか！マイバッグ(レジ袋有料化)検討会(清掃課は事務局として参加)」を開催し、レジ袋有料化により得られた収益金の活用方法を検討した。	—	—		清掃課	「ええやんか！マイバッグ(レジ袋有料化)検討会(清掃課は事務局として参加)」を開催し、レジ袋有料化により得られた収益金の活用をする。	—	—		清掃課
環境意識の高い団体、個人等により構成された“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”に、環境啓発に係る事業実施のための負担金を支出し、活動推進を図った。	きれいなまちづくり推進事業 生活排水対策啓発事業	190		清掃課 環境課	環境意識の高い団体、個人等により構成された“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”に、環境啓発に係る事業実施のための負担金を支出し、活動推進を図った。	きれいなまちづくり推進事業 生活排水対策啓発事業	207 217		清掃課 環境課	平成25年3月末をもって解散した“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”の後継団体として、環境意識の高い個人により構成された“伊勢市環境会議”に、環境啓発に係る事業実施のための負担金を支出し、活動推進を図る。	きれいなまちづくり推進事業 生活排水対策啓発事業	312 320		清掃課 環境課